

20日 庄内たがわ農協総代会から農協監査士監査へ 農協公認会計士監査へ

庄内たがわ農協（黒井徳夫組合長）の第23回通常総代会が6月20日（水）、新余目支所2階ホール（旧梵天）で開かれます。

1人欠員となっていた役員（理事）の選任が提案され、理事候補者は佐藤浩幸氏（大半田）です。

事業総利益は32億3519万円（前年度から154万円減）、事業管理費は30億8094万円（同5061万円減）で、事業利益は1億5425万円（前年度1億0518万円）、経常利益は2億4023万円（同2億0949万円）、当期剰余金は1億5129万円（同1億1013万円）です。

当期末処分剰余金2億5652万円（前年度2億6537万円）のうち利益準備金として1億円、任意積立金としてリスク管理積立金に3400万円を充当し、配当は無く、次期

繰越剰余金を1億252万円（前年度1億2037万円）にします。総代会では平成30年度（32年度）の「第8次中期経営計画」と「第7次地域営農振興計画」が提案されます。政府の「農協改革」により、2019年から農協監査士監査から公認会計士監査に移行され、非営利の協同組合に営利企業の論理が持ち込まれる恐れとなります。

各農協の出資金等の比較

	JA庄内たがわ	JA鶴岡	JAあまるめ
正1人当出資金	33万9,255円	27万4,961円	80万9,650円
正1戸当出資金	46万6,911円	43万4,601円	105万7,826円
正1戸当販売額	152万4,030円	288万0,816円	218万9,000円
正1戸当購買額	43万2,008円	164万0,023円	112万0,000円
自己資本比率	15.71%	14.09%	22.20%
出資配当		1.0%	1.0%
特別配当	-	-	-

※JA庄内たがわの購買額は（株）あいとサービス除く

※JAあまるめの購買額はコープ除く。

（2018年度総代会・総会資料より）

庄内たがわ農協 合併前との比較(単位:千円)

	基準年1993年 平成5年度	2015年度 平成27年度	2016年度 平成28年度	2017年度 平成29年度	前年度との対比	基準年との対比	
正組合員数(人)	16,876	12,795	12,557	12,378	98.6%	73.3%	正組合員数(人)
職員数(人)	1,123	482	480	453	94.4%	40.3%	職員数(人)
資産	117,589,340	121,031,784	124,073,105	126,942,307	102.3%	108.0%	資産
負債	111,618,080	111,525,557	114,676,780	117,409,066	102.4%	105.2%	負債
資本(純資産)	5,971,260	9,506,227	9,396,325	9,533,241	101.5%	159.7%	資本(純資産)
当期剰余金	93,323	194,068	110,129	151,296	137.4%	162.1%	当期剰余金
貯金	96,633,096	104,225,502	104,225,502	110,808,829	106.3%	114.7%	貯金
貸出金	36,394,244	30,090,229	28,835,463	28,094,897	97.4%	77.2%	貸出金
長期共済保有高	665,528,140	522,889,616	506,831,406	489,844,473	96.6%	73.6%	長期共済保有高
購買	19,815,583	4,060,597	3,991,431	3,885,052	97.3%	19.6%	購買
販売	30,276,797	13,984,425	13,898,575	13,705,605	98.6%	45.3%	販売
(米穀)	24,149,280	10,550,407	10,478,953	10,685,724	102.0%	44.2%	(米穀)
(園特)	3,263,811	2,146,896	2,156,921	1,883,636	87.3%	57.7%	(園特)
(畜産)	2,863,706	1,287,121	1,262,700	1,136,244	90.0%	39.7%	(畜産)
自己資本比率		17.21%	15.67%	15.71%			自己資本比率

合併は1995年（平7）。職員数は合併直前との比較。臨時職員含む。

（株）あいとサービス2014年8月1日設立。燃料・葬祭が10月1日から、農機・車両が1月1日から事業開始

【絵を描く】

八月十五日の月山

加藤貞雄（山王町／上平形出身）

昭和20年（1945）、

中学（旧制）1年になった私は、軍事教練で連日のように配属将校から訓示を受けた。

「君たちは忠義のために生きているのだ。忠義とはただただ天皇陛下のために命を捧げることだ。わかったか」と。

過ぎ去った日々のこととおおかた霞の中に消えかかっているが、その日のことは未だに脳裏に鮮明に焼きついている。

8月15日の正午、学校の講堂の床で平伏している自分の姿が浮かぶ。

ラジオの雑音の中から妙な抑揚のある言葉を聴き取るうとしたが、分からないままに終わった。

教室に戻ると担任は難しい顔をして「写真を撮っておけ」と言っただけですぐに放課に

した。

ただごとではないと不安な気持ちを抑えながら、急いで鶴岡駅に向かったが汽車は連休仕方なく先輩と2人で鉄道線路を藤島駅まで歩いた。

黙々と歩き続けた。暑かった。途中、大半田集落にさしかかったころ、

“負けたノオー”と先輩が一言つぶやいた。広がる青空の彼方に月山が目に入った。山肌に彫刻刀で鋭く刻んだような濃い陰影を抱いていた。

「負けたのだ」。目が潤み、唇をかみしめながら見つめた月山：…忘れられない。

※後日、友人と2人で掘写真館で写真を撮った。米軍が来て捕虜となる恐れからだった。（絵は平成20年3月頃、羽黒町上野新田の村はずれで）



中山道テクテク1人旅 21 大将の評判

新町 齋藤留治

私が彦根城(滋賀県)の大手門を潜った日、運良く戦国の世を闊歩した大将達の甲冑展が開かれていた。

テレビで放送された大河ドラマ等で、鎧兜に身を包んで作戦会議をしている場面で見つけた事はあったが、実物を実際見る機会は殆ど無かった。

天守閣に展示されていた甲冑は、滅多に見る事が出来ない武将の物ばかり。

詳細は忘れてしまったが、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、明智光秀、石田三成等の他、沢山の武将達の物が展示されていた。

甲冑といえば戦場と決まっているが、色とりどりに装飾された美しさは目を見張るほどで、その重量は20〜30キログラムという。いずれも国宝?で、触る事は出来なかった。

(当然のこと、ルーブル美術館に入った時に目にしたのはフラッシュパチパチの…、入館時に館員からダメと注意を受けたのに、マナー違反は中国人それとも厚顔な日本人) 私が非力なのか判りませんが、米30キログラムを背負って走る事が出来るのは、せいぜい数人。

今も昔も火事場の馬鹿力のなせる業か。

戦国の武将達には尾張、三河の国(愛知県)付近で生まれた人が多いが、岐阜県恵那市付

近を歩いていた時、目にしたのは電柱に貼ってあった「ここは明智」という住所表示(合併前は明智町)。

何故「明智」と土地の人に尋ねたところ、「ここは明智光秀ゆかりの地。」

光秀は信長を裏切った悪人と語られているがとんでもない。

光秀は頭脳明晰で知恵者。

信長を生かしておいては世のためにならないと、思い余って汚名を着せられるのを覚悟で主君を討ったのだ。」と、この辺では語り継がれているということ。

一方、討たれた信長の評判は良くなかった。滋賀県近江八幡市を歩いていた時、同じように「ここは安土」という表示が電柱に貼られていた。

信長が南蛮渡来の望遠鏡で、安土城から琵琶湖を眺めていたのでは世のためにならないと、思い余って汚名を着せられるのを覚悟で主君を討ったのだ。」と、この辺では語り継がれているということ。



明智光秀

琵琶湖を眺めている場面が放送されるが、琵琶湖からかなり離れていることが何故「安土」と尋ねたら、

「昔の琵琶湖は今よりかなり大きくて私達が立っている所は水の中。」

今では干拓されてしまいい分断されたが、一部が西の湖として残っている。

あの山から望遠鏡で眺めたのではないの?というところ。そして曰く、

「信長を誇りに思っている人がいるの?!」城跡はあるがわざわざ行く所でも無い」とそつけない。

貧乏人の心を忘れた秀吉に代わって、光秀が天下人になっていたら、三条河原の悲劇も歴史も変わっていたかもしれない。

日本史上の皇位継承 生前退位、譲位は当然

「あらためて憲法を学ぶ 青山崇

4月に歴史研究者らによって、古代から今日までの皇位継承についての研究会が開かれた。



古代から近現代まで皇位継承巡りシンポジウム 14日東京大学研究センター

私たちが多くの人は、天皇の生前退位「譲位」はないものだと思いついてきた。

皇になり30代で譲位して院となるのが普通で、幕府の許可なしに皇位継承は決められなかった。

江戸時代まで普通だった生前退位が、明治になって皇室典範制定の中で、伊藤博文を中心とした勢力がつぎのような理由で否定したという。

1つは、生前退位と女性天皇誕生の可能性を結びつけたこと。

2つは、天皇が2派に分かれて争われた南北朝動乱のような混乱

が生まれる可能性があることである。

政府方針は「憲法の趣旨に沿い」、「皇室の伝統等を尊重したものとす」とし、儀式が一貫して整然と行われてきたように言っている。

しかし、実際は戦国時代など幕府の力が衰えて代替わり儀礼費用がまかなえず、即位式や葬儀が遅れ、天皇の空位が起こったこともあり、大きな声で「皇室の伝統」などと言えぬものではない。



きびちよ いつまでフンを

納得いかないことが多い現政治、森友学園に関する処分絡む、俺が感ずる矛盾。

▲改ざん隠ぺいは組織的でなかった・と言うが、佐川氏を長とする組織で、彼が特定の部署にヤラセたんだから組織的でしょうや。20人ももの処分者だから仕事をした総数は、倍位は居るでしょうや。

▲こんな事が起きた原因は・と聞かれた大臣。口をとんがらけて「それが判れば苦労はない」だど。どの新聞をみても「首相が、〇〇タラ議員も辞める」と言った時から始まった事で、首相を守る為だと書いている。国民皆がそう思っているんだヨ。

佐川氏を除く彼らは、公務員という良心を殺して、政治家や昭恵という字を隠したんだ。それでいて処分を食う

んだから、すさまじきものは宮任えですナ!。▲「あつてはならないこと」・「忘しき問題」であり、責任は私にあるとか責任を感じていると言ってきた首相と担当大臣。しかし、責任のとりかたは、少しばかりの手当の一年間分の返上と同じようなことが起きないようにすることなんだ。原因が判らないで対策がとれますかってんだ。そらぞらしいぜ。信頼を無くした内閣は、総辞職して出直せ。

▲総理夫人の公人だ・私人だ・はどうなったんだ。公人だからと高給の付け人を置いた時に「神風」が吹いたと言ってたぜナ!。役目を果たしたから記者の眼が届かない外国に飛ばしたんだ。そして籠池氏は「国策留置」、妻は「冤罪留置」と言わしめた長い留置があったんだ。全ては首相の地位を守る為サナ。

(石川)